

会 議 録

1 会議名

第7回上越市総合計画審議会

2 議題

(1) 基本構想及び基本計画について（公開）

3 開催日時

平成26年9月8日（月）午前10時から午前11時30分

4 開催場所

上越市役所4階 401会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：濱祐子、荒川俊治、佐藤芳徳、志村喬、蘆屋秀幸、菅文男、鈴木興次、秋山三枝子、荒井隆、市川裕光、浦野憲一、大嶋慶子、荻谷賢一、笹原茂、中條美奈子、吉村久子、岩崎康文、上野弘、上原みゆき、御所窪賢一、松縄武彦、松本美鈴

・事務局：川上企画政策部長、南企画政策課長、大島副課長、青山係長、石黒係長

8 発言の内容（要旨）

(1) 開会

(2) 挨拶

【佐藤会長】

総合計画もこれまでの審議を踏まえ、具体的な形が整ってきた。前回審議会では分科会方式を取り入れ、非常に活発な意見や指摘をいただいたこと、また事務局でも精力的にまとめていただいたことに感謝申し上げます。

計画の完成度を高められるよう、本日も活発な意見、指摘をいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

(3) 議事

○基本構想及び基本計画について

【事務局（石黒係長）】

前回第6回審議会資料2により説明。

【佐藤会長】

意見等を発言いただきたいと思うが、本日欠席の委員から事前に意見を頂戴していれば事務局から報告願いたい。

【大島副課長】

本日欠席の平澤委員より意見をいただいているので報告させていただく。

資料2の40頁の施策の柱2地域医療ネットワークの構築の2項目に記載のある「民間の医療機関や団体」とは具体的にどこかという質問があった。これについては、担当部局の健康福祉部に照会中であり、返答が得られ次第ご報告させていただきたい。

【秋山委員】

計画が具体的になってきており、個別の施策については、担当課との具体的な事業提案などが考えられるが、審議会で提案をするのか、担当課と関係団体とですり合わせをして意見をまとめて提案するのかを確認したい。

【事務局（石黒係長）】

総合計画の性格上、具体的にどこに何をやるかといった部分までは掲載しない。今後8年間の指針となる計画であるので、大きな着眼点や考え方、持つべき観点を審議会で提案いただきたい。個別具体的な施策については、市の各課だけでなく様々な団体との調整に基づき行っていく。

【秋山委員】

今回の総合計画では「市民が主体のまちづくり」が7つの分野の真ん中に据えられ、かつ基本方針の中でも横断的にうたわれているが、多様な市民活動の促進について記載する69頁の内容が少ない。市民主体を具体化し推進するには、行政は相当な覚悟を持って力を入れていくことが必要であると思う。

【事務局（石黒係長）】

市民が主役のまちづくり分野は、市民の皆さんとの関わりや大切にすべき視点を示している。この分野の記載は、自治基本条例で明確化している理念や仕組みの下、市が何をやっていくべきかを記載している。強く打ち出すべき観点など意見をいただければありがたい。

【志村委員】

計画の具体的なイメージがやっと見えてきた。地域自治や市民の多様な市民活動の促進はこれからの時代大事になると思うが、全体を通してその記述が弱い印象を受ける。68頁の地域自治の推進などは記載しやすいと思うのでもっと書いてほしい。

【佐藤会長】

こうした方がよいという具体的な指摘をいただけると、事務局も助かると思うのでお願いしたい。事務局の方でも検討していただきたい。

【浦野委員】

大規模災害への対応力の強化について記載する28頁の中に、除排雪についての文言がない。上越市にとって雪は宿命的なものであり、地震やゲリラ豪雨などと同様、雪対策についても災害の一つとして具体的に記載すべきだと思う。

【事務局（青山係長）】

雪対策は重要な問題であるが、当市は雪国であり、除排雪は日常的な業務として対応すべきものであることから、災害ではなく62頁の施策の柱3冬期間の交通網の確保に位置付けている。

災害認定されるレベルの豪雪は例外であり、そのような場合は災害の観点から対応していくという整理である。

【佐藤会長】

雪を災害の一部として捉えた方がよいとの意見であり、検討してほしいと思う。

【笹原委員】

42頁の施策の柱2就労支援の充実の3項目に、「農業分野における就労機会を確保」とある。就労支援とは農業分野に限ったものなのか。他の分野も含むのであれば「農業分野においても…」などとし、記載を工夫すべきである。

また、52頁の施策の柱2担い手の確保の1項目に記載されている担い手以外にも、女性など多様な担い手を確保するという視点が必要である。同頁の施策の柱3所得の向上の1項目に、「水稻単作経営から園芸複合施設への誘導・支援」とあるが、複合経営へ誘導するということか。他にも、3項目に「生産から加工、流通まで」という言葉があるが、「流通」よりも「販売」という言葉を使う方が一般的な言い回しであると思う。

55頁の施策の柱2食育活動の推進の記載内容は、食育についてではなく、施策

の柱1 生産活動を通じた生きがづくりについての内容であると思う。「伝統的な食文化を守る」等が食育の内容になると思う。

【事務局（石黒係長）】

意見を踏まえて記述を検討したいと思う。食育の部分に関しては、表題と内容に齟齬があり、作成段階でのミスがあるので、記載を見直したいと思う。

【佐藤会長】

文言等の修正などできるのであればお願いしたい。農業分野に特化した記載があるとの指摘であったので、他分野との整合性のとれた記載としてほしい。

【松縄委員】

59頁の施策の方針に、「スポーツ活動の振興」と記載があるが、「スポーツ活動の推進」に変えてほしい。また、頁全体にわたり、総合型スポーツクラブへの支援という言葉が出てくるが、それ以外に体育、スポーツ、健康に取り組む競技団体や任意団体への支援も行う旨を記載してほしい。

【佐藤会長】

関連して、同頁に記載されている「東京オリンピック」は、「東京オリンピック・パラリンピック」との記載にするか検討してほしい。

【上原委員】

58頁の施策の柱3 図書館活動の推進について、各分館・分室では地域の実情に応じて様々な工夫や取組がある。可能であれば分館・分室にもスポットを当てた記載としてほしい。

【事務局（青山係長）】

担当部署に確認し、調整させていただく。

【秋山委員】

58頁の施策の柱2 公民館の機能強化について、ここ数年、公民館の在り方については検討がなされ、変化しようとしている。記載については担当課とすり合わせをお願いしたい。

【大嶋委員】

39頁の現状と課題の1項目に、「学童」という言葉が使われているが、「児童」と記載すべきである。

他にも56頁に「子供」という記載があるが、「子ども」と記載した方がよい。

また、同頁施策の柱1 基礎学力の向上の1項目にある「学力実態に応じた…学習

ボランティアによる支援」は実現してほしい。現在、市内の指導力のある教員の授業を、他校の教員が見学することで共有するという取組を行っている。「共有」という視点も記載に加えてほしい。

47頁にメタンハイドレートについて記載があるが、一般市民やこれから進路を決める子どもたちにもメタンハイドレートについて伝える機会を作してほしい。そうすることで、地元で国際的な仕事ができる希望が持てたり、技術者という進路の選択もできる。産業、教育分野にメタンハイドレートを普及してほしい。

【佐藤会長】

「子ども」の表記については、「こども～」などとひらがな表記でオーソライズされている言葉もある。計画全体で統一感を持たせてほしい。

【上野委員】

49頁の現状と課題の6項目に、「市内観光の回遊性を高め…広域交通インフラの整備による交流圏域の拡大」との記載や、62頁の施策の方針に、「鉄道やバスなどの組み合わせによる効率的で利便性の高い地域交通を…再構築」とある。市民目線で見ると、この記載では公共交通が変化するようには感じられず、佐渡や周辺自治体等との関係など、本当に交通の利便性が上がるようには見えてこない。市民が期待を持てるような記載をお願いしたい。

【事務局（青山係長）】

重点戦略や基本施策への記載において検討させていただきたい。

【志村委員】

49頁の施策の柱1 地域資源の磨き上げとあるが、「磨き上げ」という言葉は、「魅力を高める」などと記載した方が市民に分かりやすいのではないかと。

また、同頁の施策の柱2 広域交通網をいかした誘客促進の2項目に、「小木直江津航路など市内外への二次交通を確保し、…」とあり、62頁の施策の柱2 広域交通網との連結強化の1項目には、「地区内の公共交通や生活道路との連結を強化し、…」とあるが、ほぼ同義なので、言葉の使い方を整理して分かりやすくしてほしい。

全体を通して、市内の空間と広域の空間を関連させて考えた方がよいと思う。

【事務局（石黒係長）】

土地利用構想も含め、表現の仕方を工夫したいと思う。

【佐藤会長】

具体的に記載した計画の方が分かりやすいが、総合計画の性格上ジレンマがある。

「磨き上げ」など馴染みのない言葉は、キャッチコピーの効果もあるが、整合性のとれた表現としてほしい。

【岩崎委員】

観光の振興について記載している49頁には、13区の観光地の例示を加えてほしい。

また、目標設定について、特に健康、産業、教育分野は、どんな目標とするかによって内容が変わってくると思う。絵に描いた餅にならないよう、いかに実行に移すかが大事である。

【事務局（青山係長）】

目標設定については、そのような観点を持ちながら検討したい。

前回審議会の産業分科会では、春日山を上越市の観光の中心とし、13区も含めた地域全体に誘客効果をつなげていったらどうかとの意見があった。第6次総合計画の現在の案では、水族博物館や春日山、高田公園といった市民の多くが共有できる代表的な観光資源を例示として挙げ、そこを中心に市全体に誘客効果を波及させていくと記載している。13区の観光資源のうちどれを主要なものとして選択し、例示するかは難しい面もあるが、検討させていただきたい。

【佐藤会長】

検討してほしい。

【中條委員】

44頁の現状と課題の4項目に、「発達障害概念の普及等が、子育てや出産への不安の一因」となっているとあるが、発達障害概念の普及等が出産への不安にまでつながると読み取れる表記は適切でない。発達障害概念の普及については、3つ目の項目で記載すべきだと思う。

66頁については、「上越市を女性が活躍できる地域にしていく」旨の記載をしてほしい。女性が活躍しやすい環境作りが少子化対策にもつながることは確認されている事実であることから、もう少し踏み込んだ表現をしてよいと思う。

【事務局（青山係長）】

意見を踏まえた上で調整させていただきたい。

【濱委員】

55頁と56頁に、「子どもに対する食育活動」について記載してほしい。56頁は、学力についての記載はあるが、体についてはあまり触れていない。上越市は、

生活習慣病の予備群を持っている子どもが多い地域もあるので、子どもの食育についての項目を入れてほしい。

【佐藤会長】

意見を組み込めるよう検討していただきたい。

【上原委員】

55頁の施策の柱2食育活動の推進の1項目にある、「高齢者や女性農業者が活躍できる…」という記載は、新規就農者や若い農業者も含めた記載としてほしい。

【事務局（石黒係長）】

55頁の施策の柱2は、記載誤りで食育ではない内容となっている。食育については、基本的には農業分野に位置付け、先ほど意見のあった子どもへの食育の視点なども考慮して記載したい。新規農業者など担い手を増やす観点も大事な視点として取り入れたい。

【佐藤会長】

食育は子どもや高齢者などに限定せず、一般の方に対する記載としてほしい。

【鈴木委員】

63頁の現状と課題の2項目に、「魅力とにぎわいの再生が課題…」、施策の柱3拠点機能の維持の1項目に「…機能の維持・集積を図ります」とある。高田や直江津などににぎわいを創出するには、人材育成などのソフト政策も必要だが、長岡市の駅前のまちづくりのような一定のハード政策も必要である。現状を維持するのか、新たに取り組む姿勢があるのかを分かるように記載してほしい。

【志村委員】

土地利用政策は上越市にとって非常に大きな問題である。もう少し踏み込んだ記載をしてほしいと思う。

【佐藤会長】

担当部局と調整していただきたい。

【浦野委員】

内閣改造により、地方自治体にも国から少子化対策への指導はあったのか。もしあった場合、5頁にある総合計画策定の背景の文章を変更するとともに、総合計画に少子化対策への文言を具体的に盛り込むべきである。

【事務局（青山係長）】

国で総人口の目標値を設定し、都道府県には人口目標を盛り込んだ計画の策定が

努力義務として求められているが、市町村にはそうした義務はないと報道されている。少子化対策については、安心して教育を受けさせられる、子育てへの不安や経済的負担の軽減を図るなど、個別の施策の中で少子化対策に絡めた記載をしたいと思う。出産を増やすというのは、個人の意思が関係することなので難しい面もあるが、子どもを安心して産み育てられるまちとなれるよう、総合的に取り組んでいく観点を盛り込むことが必要と考えている。

【浦野委員】

上越市がどういうまちを目指しているのかが見えてこない。観光や産業分野以外にも、教育分野などのPRが必要である。教育分野での取組が少子高齢化対策にもつながっていることをPRしてほしい。

【志村委員】

56頁の施策の柱2 特色ある学校教育の推進の2項目に、「…推進するための教育環境を整えます」とあるが、教育環境については57頁に記載があるので、56頁には「…などを推進します」といった記載がよいと思う。同項目については、「…対応していく力を育むため、基礎学力の向上に加え、キャリア教育、…」と記載した方が読みやすくなり、親目線で読んだ時にも説得力があると思う。

また、教育、医療、福祉分野は、観光分野に匹敵するような産業機能があるので、教育や医療、研究開発、子育て等を外に向けて発信した方がよいと思う。

【事務局（石黒係長）】

重点戦略の交流では、多様な目的による交流を促進し、その効果を地域の発展や暮らしの豊かさにつなげていくことを示しており、その多様な目的の中に教育や子育て、医療、福祉、研究・開発等も含まれている。重点戦略の中で観点を取り入れたいと思う。

【佐藤会長】

浦野委員と志村委員の意見は共通する部分が多いと思うので、計画に視点を盛り込んでほしい。

【蘆屋委員】

61頁の現状と課題の3項目に、「人口減少社会においては、…従来型のまちづくりは困難」とあり、施策の柱1 施設の長寿命化の推進には、補修や維持管理については優先順位を判断し対策を講じるとした旨が記載されている。既存のインフラをずっと使えるようにするだけでなく、場合によってはなくすことも視野に入れてい

るということを市民に知ってもらえるような記載をしてほしい。

【事務局（石黒係長）】

以前に審議会で、インフラについては整備だけでなく維持も必要であるとの意見を踏まえてこのような記載としているが、なくすということはインフラの最適化において重要な観点であると思う。担当部署とも調整させていただきたい。

現在策定中の行革大綱や行革推進計画でも大切な視点として取り上げており、様々な角度からの記述ができるよう検討したい。

【佐藤会長】

計画に盛り込めるよう検討していただきたい。

【荒川委員】

61頁の施策の方針に、「人口減少社会を見据え、適切な維持と活用の視点を持って…維持・補修を…」とあり、目標の設定によってもイメージが変わると思うが、記述が総花的であり、インフラの廃止も包含された表現になっている。インフラ整備は、費用対効果だけを考えず、中山間地域のことなど広い視野で考えなければならない。

また、少子化対策についても、子どもを産んでもらうためにどのようなまちづくりをしていくかが大事であると思う。

【市川委員】

総合計画に関心のない市民は計画を読まないと思う。計画を市民に浸透させるためには、予算等の問題もあると思うが、従来の冊子という形だけでなく視覚的に伝えられるようなイメージ映像を作り、インターネットを活用して配信するという方法もあるので検討していただきたい。

【事務局（石黒係長）】

総合計画の周知方法については、市民意見交換会でも意見をいただいているが、市民向けに総合計画の概要版を作成し、全戸配布をする予定である。現時点では検討中であるが、実際の総合計画にはイメージ図やイラスト、写真など交え、できるだけ分かりやすいものとなるよう工夫したいと考えている。

【佐藤会長】

経費の問題等もあるが、ホームページにアップする以外にも、例えば10分から15分くらいで基本的な骨子の部分をPRするビデオを作るなど、検討してほしい。

【事務局（石黒係長）】

今回の総合計画は、「市民の皆さんとともに」という点を基調に策定している。各政策分野には、今までなかった「市民・事業者の皆さんとともに」という項目を設けることで見せ方を工夫し、基本計画も、市民の皆さんの活動を意識しながら策定している。市民が主役のまちづくり分野は、どの政策分野にも色が着かない、これから新しい課題などを発掘していく分野である。共通項として加えるべき点など具体的に指摘をいただきたい。

【秋山委員】

提案であるが、「市民・事業者の皆さんとともに」の記載を審議会委員の責任の下、関係する団体からコメントを募集して記載してはどうか。市民の声が反映された総合計画になると思う。

【事務局（石黒係長）】

現段階の計画の策定方法としては、各分野の代表である審議会委員の皆さんから、「市民・事業者の皆さんとともに」の項目をはじめ意見を出していただき、策定後の計画の実行段階において、関係団体をはじめ市民の皆さんとともに取り組んで行く方向で考えている。

【佐藤会長】

団体からコメントをもらうというのは新しい視点であると思う。こういった形で計画に反映できるか検討してほしい。

【志村委員】

秋山委員の意見は、計画に市民がどのように参画するかというプロセスの在り方についての意見である。68頁に地域自治区制度など当市の先進的な取組を記載しているが、この制度が計画の策定にどのように組み込まれて活用され、またどんな成果が出たのかが市民に伝わるようにできれば、計画に対する市民の意識が醸成されやすいと思う。見せ方で工夫するのか文面で工夫するのか、いずれにせよ制度を取り入れていることを見やすく示してほしい。

【佐藤会長】

他に意見がなければこれで議事を終了したい。審議結果は事務局でまとめ、計画案に反映してもらうこととしたい。意見や指摘等あれば意見提出シートにて提示いただきたい。

【全委員】

了解。

4 その他

【事務局】

事務連絡。

(9) 閉会

9 問合せ先

企画政策部企画政策課企画政策係

TEL : 025-526-5111 (内線 1452)

E-mail : kikaku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。